

栄養の宝庫



「うずらの卵」のプリンが好評です



室蘭は、道内唯一のうずら卵生産地。地域の食材とコラボレートしたスイーツが生まれています。

安全・安心 室蘭のうずら卵



安全・安心で
高栄養！

うずらの卵は、鶏卵と比べ栄養価が高く、特にビタミンB1 2は鶏卵の5.2倍！また、室蘭産のうずら卵は本州等からの種の導入がないため、外部からの種の導入による病気の心配がなく、「無投薬飼育」が行われていて、「安心・安全な卵」といえます。室蘭市の給食に登場し、食育にも役立てられています。

室蘭地域の農畜産物をコラボレートした「うずらのプリン」



うずらのプリンが誕生したのは平成22年。販売開始以来、道内のみならず全国で好評を博しています。えさに工夫をこらした臭みのない卵、うずら園のお隣の酪農家から毎朝仕入れている新鮮な牛乳が美味しさの秘密。優しい甘みは伊達産のてんさい糖を使用しているから。地域の食材を活かし、その魅力を全国に発信しています。

「安全なものづくり」を次世代へ

室蘭市内でうずらのプリンを製造している三浦忠雄さんにお話をうかがいました。

Q プリンなど加工商品の開発に取り組んだきっかけは？

餌の高騰、暖房用灯油の値上がりで生産コストが上がり、うずら卵の付加価値を高めるためでした。

Q 原材料のコラボレーションについて

東日本大震災で宮城県亘理町から伊達にきてイチゴを作っている人達のために何か出来ないか、というところからです。伊達産イチゴを使ったジャムをトッピングした室蘭産牛乳使用のアイスクリームが完成しました。ジャムの完成には2年かかりました。近郊で採れた農産物を使って、地域を盛り上げていきたい。

Q 6次産業化の取組や課題について、どのようにお考えですか？

原材料の良さに加えて加工・販売等のあらゆるノウハウが必要。そういった面で農家をサポートできる人材づくり・体制づくりを行政がもっと担ってほしい。

Q 今後の展望についてお聞かせ下さい。

そもそも「安全なものを作りたい」というのが、この仕事を始めたきっかけ。今後も業務を通じて安全・安心を次世代に伝えていきたい。この仕事をしていて良いのは「人に会える」こと。色々な人に応援してもらって感謝している。商品を褒められると若い従業員のやりがいにもつながるので、なるべく人と会える環境を作っている。今後も出会いを大切に、この地域ならではのコラボレートした商品を作っていきたい。



うずら卵のアイス



三浦忠雄さん

室蘭市役所の相原主幹にお話を伺いました

室蘭市では、うずらの卵もそうですが、他にも室蘭ならではのものを使ったまちの特産品づくりが地元の方々の手で進められています。「ヤヤンコンブ」という名前を聞いたことがあるでしょうか？室蘭だけにしかない昆布で、フコイダンやアルギン酸などの栄養素が多く含まれています。そのヤヤンコンブを練り込んだうどんが大変美味です。室蘭は地域を盛り上げたいことと取り組む方々に支えられ、新たな魅力が育っています。



室蘭市農水産課 相原主幹

北海道開発局 室蘭開発建設部では、地域が直面する課題や今後の各地域の方向性を示すための調査を行っています（北海道総合開発推進調査）。調査結果を関係機関へ広く情報発信し、特産品の流通消費拡大や地域資源を活用した地域振興の取り組みなどを支援しています。

